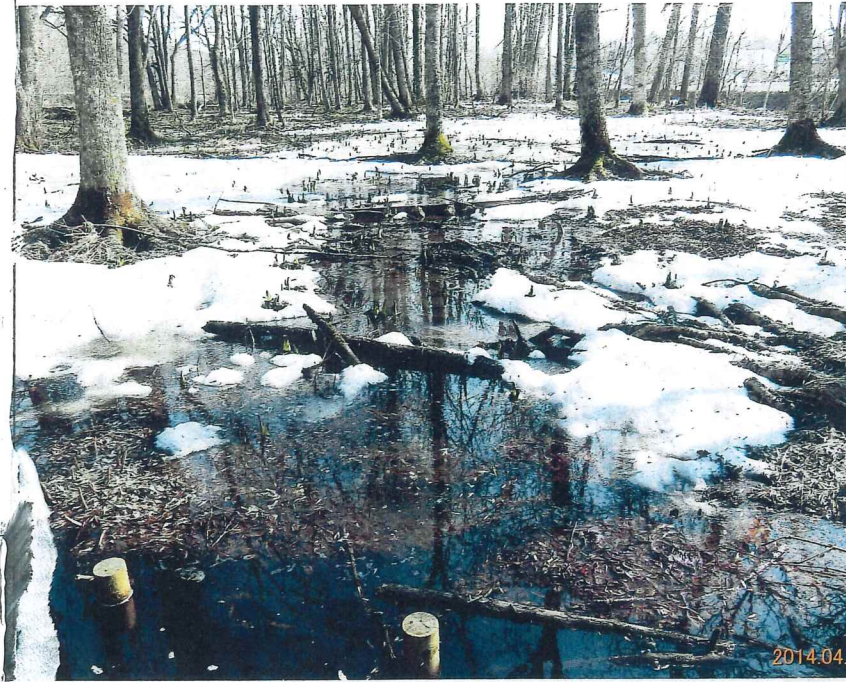




保全地 春の作業日

2014.04.19



2014.04.19



エゾヤマザクラ



4/19 春の作業

2014.04.19



雪どけを待つアオサギ



フキントウ(全部メダケ) 帰り日も待つカモの群・網走川



日だまりのフクジュソウ



フキントウ(全部メダケ)

写真 佐々藤正博

雪どけが始まる

概況 今年には雪解けが遅れ春の手入れの日に(4月19日)保全地に入らず、周囲や側溝の清掃をしました。昨年の出水で護岸の丸太が流れ出し水に浮いている状態になつていたので、林業用のトビで引っぱりだし護岸の整備をしました。雪がとけるとすぐに水芭蕉の開花となり林床一面に広がりを見せていました。

JR沿いの側溝の浚渫(出水の備え)で側溝の上流部が深くなり、保全地への水の流入が減りました。今後の状況を観察して従来どおりの水の流入を確保する必要があります。然かもかもしれません。しかし自然に前のように戻るかもしれません。

中央部と線路側の水芭蕉は確実に増えています。国道側もカエルが発生するほどの水溜りができています。引き続き雪解け水を保全地内に溜まるようにする必要があります。乾燥化は雑草が入り込むので水芭蕉にとつては致命的です。

シーズンには観光バスが止まり、多くの人の目を楽しませていました。

水芭蕉とは関係ありませんが、網走湖の呼人浦に菱が大繁殖をはじめました。昔はアイヌの人たちの大切な食べ物でしたが今は採る人もなく水質悪化の懸念があります。専門家に相談して手遅れにならないように要注意です。

文責 清水 敦

2014年 5月27日発行

# 水芭蕉通信

10号

網走湖 水と緑の会代表 清水 敦

〒99-2421 網走市呼人八七ノ森の家

TEL FAX 0152-48-3333



保全地 全果 早良 角谷 重三